

6人の主人公

グループ1

<第1回> 5/22 (土) 『どんな利用者がいるだろう?』
公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、新しい公園ではどのような人が、誰と、どのような時間を過ごすのか想像してみましょう。

	主人公①	主人公②	主人公③	主人公④	主人公⑤	主人公⑥
人物像	国内産 (25) 海外遠航者 (バックパッカー) (26) (ビジネスマン) (27)	運動 (ランナー) (33)	運動 (サイクリスト) (34)	中高生たち (29)	子ども (女子) (2)	小学生たち (28)
公園で何を? (目的)	飛行機に乗って疲れた体を休める 川崎の工場のライトアップを活かす	多摩川を見て心を休める	くつろぎ・軽食スペース 多摩川でサイクリング・ランニングした人が休む	ダンス 楽器の練習	色々な遊具で遊ぶ カウンターがある遊具でおまごこと遊ぶ	広い緑地で紙飛行機を飛ばす 工場や滑走路の夜の様子を眺める
どこから、どうやって来る? (地域と交通手段)	アメリカ、ヨーロッパ、アジア 飛行機 日本全国	川・海・飛行機を見ながらビールを飲む	区内 (ランナー) 区外 (サイクリスト) 立川からも来る	区内 川崎も? 公園の近く	区内 (休日に)	日本全国 (飛行機眺める)
どのくらいの頻度で来る? (毎日、週1、年1など)	東京に来ること	毎日	毎日 月2~週1	毎日 休日	休日に家族で 週に1回	月1回 夏休み 年数回
公園にどのくらいいる? (滞在時間)	最大3時間 公園に一晚泊まる	30分~1時間 休憩施設・飲食施設があると滞在時間が伸びる	30分~1時間	2時間 朝練前部活後 16~18時くらい	1~2時間 放課後	

6人の主人公

グループ1

<第1回> 5/22 (土) 『どんな利用者がいるだろう?』
公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、新しい公園ではどのような人が、誰と、どのような時間を過ごすのか想像してみましょう。

	主人公①	主人公②	主人公③	主人公④	主人公⑤	主人公⑥
人物像	文化芸術 (地域活動・ボランティア) (40)	介護者と被介護者 (42)	若いカップル (47)	ママ友と子供たち (48)	展望 (飛行機) (43)	
公園で何を? (目的)	地域交流	車椅子の人 身体障がいがある人 散歩 遊んでいる人を見る	騒ぐ・音を出す 立ち寄り人	飛行機と夜景を眺める テラスで軽食 子どもが遊んでいる間にベンチでおしゃべり	飛行機を見る	
どこから、どうやって来る? (地域と交通手段)	地域内 東京 じゅう	バリアフリートイレ 車を停めるスペース	色々なところ 6~7人	色々なところ	日本全国 (飛行機を見る)	
どのくらいの頻度で来る? (毎日、週1、年1など)	年5~6回 イベント 月1 イベント	区内 週1回	月1~年1	週1~2回		
公園にどのくらいいる? (滞在時間)	1日中	30分~1時間 朝からずっと	夜だけ	午後 16時くらいまで 休日は一日中 午前中	1日中	

6人の物語

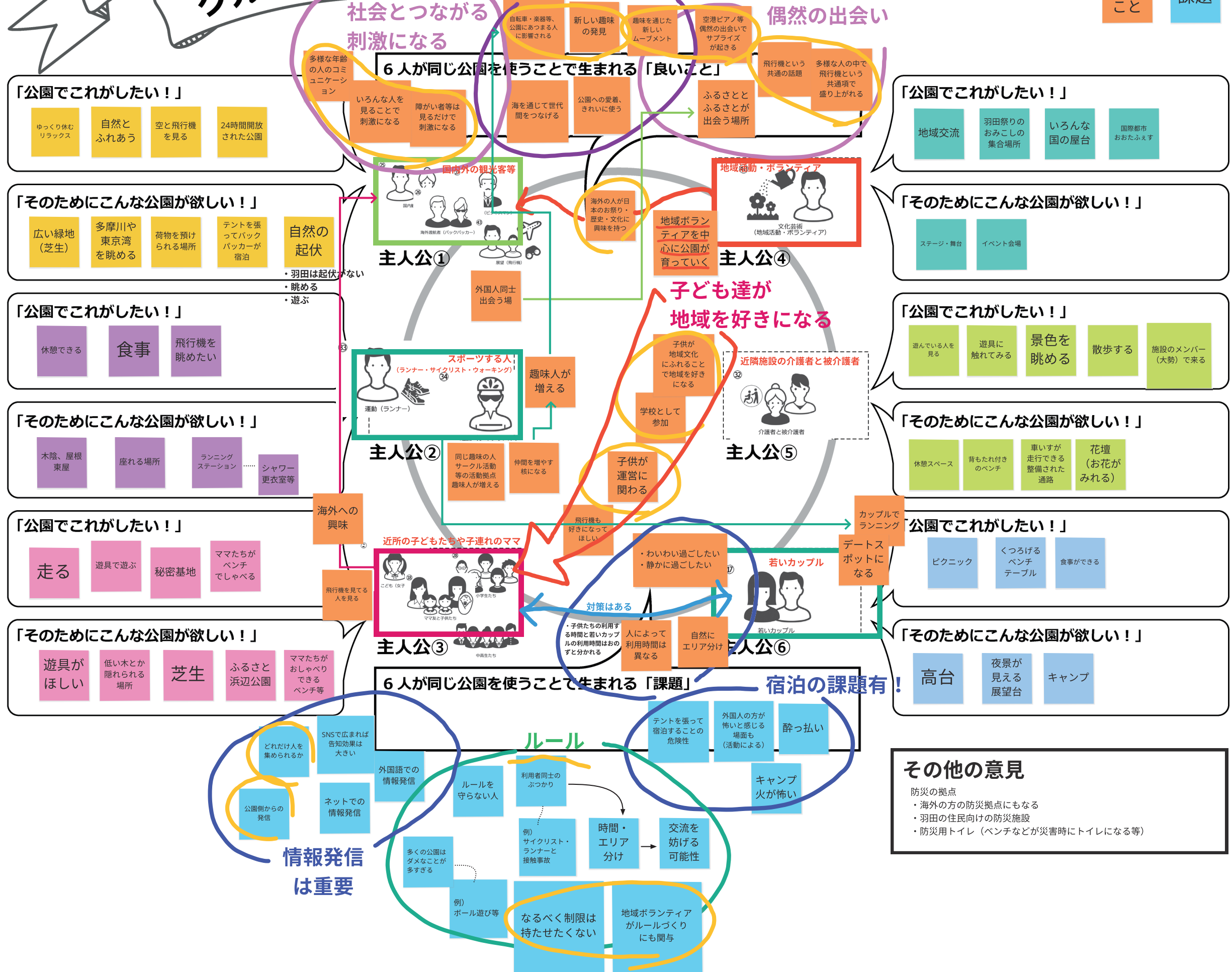
グループ1

<第2回> 6/12 (土) 『ストーリー (物語) をイメージしよう』

第1回で想像した人が公園に集まったときに、どのようなシーンが生まれるのか、
ロールプレイング・ゲームを通じてイメージを膨らませましょう。
影響を受け合う

良い
こと

課題



将来、こうなっているといいな♪

私たちの公園

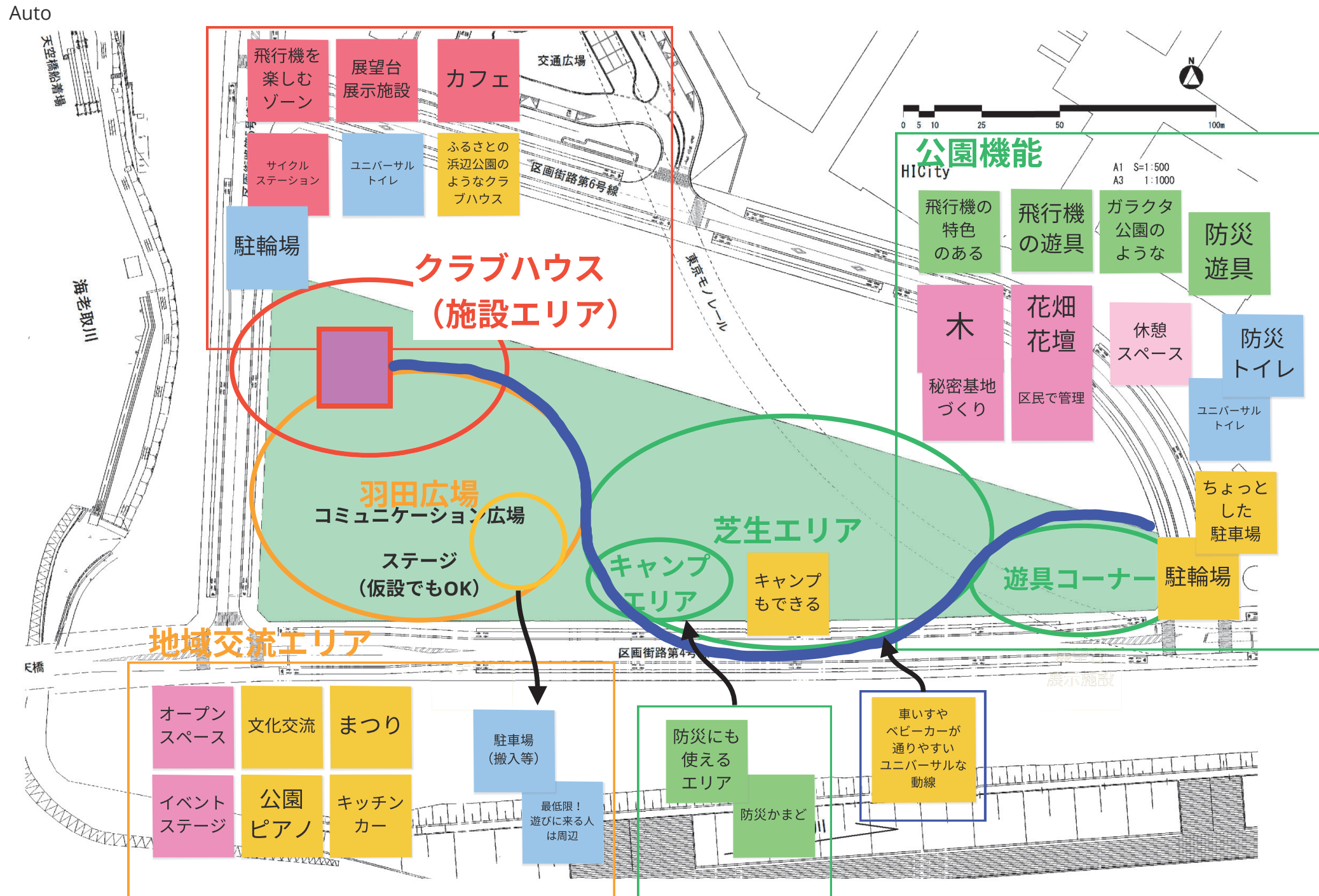
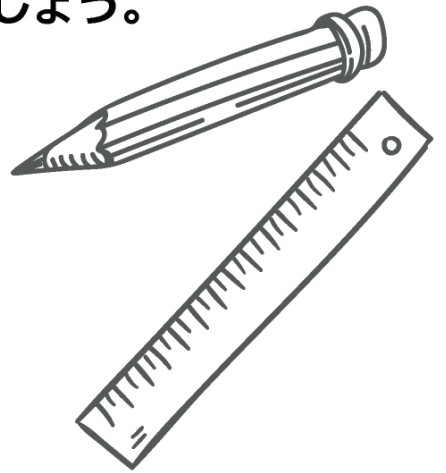
グループ1

<第3回> 6/26 (土) 『テーマ：必要なレイアウトと使い方を考えよう』
みんなに愛される公園とするために必要なレイアウトや活動を想定して、多様な人たちが楽しい時間を過ごせるようにするための使い方を考えましょう。

『羽田エアポートパーク (ひこうき公園・つばさ公園)』

タイトル ①みんなのための公園としての機能 ②空港に隣接する公園としての特徴
③羽田地域にある公園としての特徴 (羽田広場)

グループ名 **空と希望のチーム** チーム未来予想図
空と公園が好きな人たちチーム



- ### おすすめポイント
- 飛行機を知ることができる。(展望台・展示 (常設か仮設))
 - 羽田広場 (地域イベントやコミュニケーションができる。いろいろな人が集まることにより偶然の出会いがおきる。新しい趣味ができる。)
 - ゆったりとした芝生広場があり、飛行機を感じられる遊具がある。
 - 多摩川・東京湾・空港が一望できる。
 - 防災拠点として利用できる。(クラブハウス・トイレ・防災かまどベンチ)
 - キャンプができる。防災時の対応もできる。

- ### 使い方の提案
- 飛行機・ヘリコプターの遊具において興味をもってもらう
 - 遊具コーナーと芝生広場を分けてぶつからないようにする
 - キャンプができるエリアを作っておく。
利用などのルールを作る。かまどベンチなどを置く。
 - 地域の人とともに公園の運営をしていく (自分たちの公園と思ってもらう)
 - 公園運営委員会による杓子定規ではないルールづくり。
 - クラブハウスの上を展望台として使う
 - 使える公園ということを前提に計画をする
 - 外国語でもルールや情報を発信していく (QRコードの利用)